

新型コロナウイルス感染症及びその疑いがある方が 亡くなられた時のエンゼルケアについて

2023.1.23 作成

新型コロナウイルス感染症の患者様や、その疑いがある方がお亡くなりになった際に行うエンゼルケアの方法は、一般の症例と比較して大きな差異はありません。

死亡後は、患者呼吸から飛沫・空気感染が発生するリスクは、ほぼ消失すると考えられますが、喀痰、唾液、便等の体液には、ウイルスは残存すると考えられるため、これらの流失を防止する対策が必要です。最近発出されたガイドラインでも、『遺体に適切な感染対策（清拭及び鼻、肛門等への詰め物や紙おむつの使用等により体液等の漏出予防を行う等）を講ずることにより、通常の遺体と同様に取り扱うことができ、納体袋に収容する必要はなくなります。』と記載されています。（「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方 及びその疑いがある方の処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン（第2版）」2023.1.6 厚労省、通産省通達）

上記に配慮した具体的なエンゼルケアの方法を下記に示します。

体液流出が生じにくいと考えられるご遺体に対しても、気道口（鼻腔、咽頭）、消化管口（口腔、肛門）、尿道口などの体液流出口に対して、確実に流出防止策を講ずる必要があります。

【具体的な対応ポイント】

- 気管内、口腔内、胃内や膀胱、腸管の貯留体液は、できるだけよく吸引して残留体液を減らします。（胃管、尿道留置カテーテル等もよく吸引したうえで抜去します。）
- できれば体液漏出防止用のゼリー（下写真）を注入するのが望ましいですが、なければ石綿、綿等で詰め物を行います。
- 詰め物をした後に、身体を動かしたり、腹部を圧迫するなどしても体液流出がないか確認します。
- 陰部には、オムツ（テープ式でもパンツ式でも可）を装着します。
- 褥創や創部も体液が流出しないように、ガーゼやパットで覆いずれないようにします。



セーフティセット例 株式会社ヒュー・メックス



ご遺体の直接ケア時の个人防护具参考図

看護ル～HP より借用 <https://www.kango-roo.com/work/7788/>

【エンゼルケア時の PPE・対応の注意点】

- それまで処置時に行っていた PPE、感染対策と何ら変わりありません。
体液処置があるため、アイガード、サージカルマスク、袖付きガウン、手袋（上図参照）は必須。
帽子、フェイスシールド、N95 マスク、二重手袋等は、状況に合わせ適宜ご検討下さい。
- 処置以外の接触（エンゼルケア後）の対応時には、手袋を含め PPE の使用は不要です。ご家族も含め直接接触しても、接触後に手指衛生（消毒）を行えば問題ありません。

* 終末期、臨終時も家族の方の面会も可能です。

隔離中にお亡くなりになった場合でも、患者様の尊厳とご遺族のお気持ちに十分配慮して対応するよう心掛けて下さい。